

金沢市長選挙の結果について

2018年11月11日 市民本位の金沢市政をつくる会

はじめに、市民の会の南しょうじ候補への市民の皆さんのご支援に、心からお礼申し上げます。

今回の市長選では、今までどおりの市政運営を続けるのかどうかは問われました。

この間の山野市政は、家庭ごみの有料化や宿泊税など公約にないものを、市民の納得と同意がないまま実施へ進めるなど、市民の声に耳をかたむける姿勢に欠けています。また、第2本庁舎の建設や金沢駅西口外資系ホテル誘致と周辺整備などの大型開発、観光関連施策を進める一方で、市民の暮らしは後回しにされています。

今年の8月には、「山野ゆきよし金沢市校下後援会連合会」が政治資金団体の届け出をしないまま、町会からの寄付などを受けていたことが明らかになりました。思想・信条の自由という民主主義の根幹にもかかわる大きな問題です。

同時に、改憲や消費税の増税など、暴走する安倍政権への不安と怒りが広がる下での市長選でした。国の悪政から市民の暮らしや地域経済、平和をどう守っていくかが問われる選挙でもありました。

市民の切実な願いがまっすぐ届く市政をつくることができるのは、場外車券売り場の設置に反対を貫き、巨額の税金をつぎ込む第2本庁舎の建設の見直しを求め、家庭ごみの有料化に反対する運動を継続してきている「市民の会」です。

全国で「市民と野党の共闘」が広がり、金沢でも家庭ごみの有料化などで党派を超えた共闘が進む中で、市民の会は従来の枠を超えた候補者の擁立を模索しました。その結果、立候補の表明が遅れ、準備期間がきわめて限られた中での選挙戦となりました。「私たちの税金、私たちの暮らしへ」という市民の願いを、南しょうじ候補への支持に結びつけるには、取り組みが不十分でした。

しかし、家庭ごみ有料化や宿泊税の導入の中止、市による除雪の拡充、子育て支援の充実など、南しょうじ候補が掲げた公約には、目を追うごとに共感が広がっていきました。私たちの政策は、市民の願いに合致したものだたと確信しています。

市民の会は引き続き、市民の願いがかなう金沢市政をつくるため、みなさんと力を合わせて奮闘する決意です。

以 上